

平成29年度第1回大泉町総合教育会議 議事録

1 日 時 平成29年10月24日（火）午後1時00分から午後1時21分まで

2 出席者

[会議構成委員] 村山町長、國井教育長、教育委員会委員（高倉教育長職務代理者、
福田委員、秩父委員、大塚委員

[事務局]

教育委員会事務局 松島教育部長、持田庶務課長、根岸庶務係長
町長部局 上村総務部長、笠松総務課長、中村法規行政係長
加藤企画部長、宮永企画課長、久保田企画調整係長

3 協議事項

(1) 本町の教育・子育ての充実を目指した窓口の一元化について

4 その他

【詳細】

1 開会

進行（松島教育部長） これより平成29年度第1回大泉町総合教育会議を開会いたします。司会進行を努めさせていただきます、教育部長の松島でございます。よろしく願いいたします。それでは、次第に従って進めてまいりたいと存じます。最初に村山町長からごあいさつをお願いいたします。

2 町長あいさつ

はい。改めまして、こんにちは。本日は、お忙しい中、みなさんに集まってお聞きいただきまして、ありがとうございます。さて町では、行政に対する需要や課題に対し、柔軟かつ効率的に進めるよう対応を考えております。また、新しい組織づくりも検討しているところでもありますので、本日はみなさんに今後の教育行政についてご意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

進行（松島教育部長） ありがとうございます。次に國井教育長よりごあいさつをお願いいたします。

3 教育長あいさつ

こんにちは。お世話になります。台風も通り過ぎ、気がつけば一気に秋も深まったと感じますが、教育委員関連事業も、学びの秋、あるいはスポーツの秋ということで、教育委員会が担当する生涯学習関係の諸行事、教室、また、学校での教育活動も諸課題はあるものの、順調に進めてきております。本日はより良い教育を進めるための条件整備や組織に

ついてということではありますが、大局的なお立場から、あるいは、きめ細かな目線で ご意見をいただけますよう、よろしく願いいたします。お世話になります。以上です。

進行（松島教育部長） ありがとうございます。4 協議事項であります。大泉町総合教育会議運営要綱により町長が会議の議長となりますが、事務局の方で進行させて頂いてよろしいでしょうか。

村山町長 はい。

進行（松島教育部長） それでは、引き続き私の方で進行させていただきます。

4 協議事項（1）本町の教育・子育ての充実を目指した窓口の一元化について、企画課より説明をお願いいたします。

宮永企画課長 はい。

進行（松島教育部長） 宮永課長

宮永企画課長 いつも大変お世話になっております。企画課長の宮永でございます。よろしく願いいたします。それでは、「本町の教育・子育ての充実を目指した窓口の一元化について」ご説明申し上げます。お手元の資料をご覧頂きたいと存じます。この度、案件としてご提案させていただきました目的は、資料に記載しておりますとおり、幼稚園・保育園・小中学校との連携強化を目指し、「子ども」に関する窓口の一元化を図ることでございます。現在、町では、町長のお話にございましたとおり、組織の見直しを検討しております。そのような中、子どもに関する窓口は、保育園・幼稚園・認定こども園について、社会福祉部子育て支援課と教育部庶務課で分かれており、住民の皆さまには、手続き内容に応じて、それぞれの窓口を訪問頂いている状況でございます。このようなことから、住民の皆様にとって利便性向上と、また就学前から就学後へ途切れることなく子どもの健全な育成を図ることに主眼を置いた体制整備といたしまして、関連する事務を取り扱う窓口を教育委員会へ一元化してまいりたいと存じます。また、町全体として更なるワンストップサービスの推進に繋げていくため、町長部局にある子育て支援課の所掌事務を教育委員会へ委任してまいりたいと存じます。委任の対象となる事務につきましては、資料に記載してありますとおりでございます。以上、説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

進行（松島教育部長）

説明が終わりましたが、委員の皆さんからご意見を頂きたいと存じます。最初は町長の方からこの案件についてお願いいたします。

村山町長

はい。先ほど、説明がありまして多少重複しますが、現在の機構においては、子ども

に関する窓口が分かれており、住民の皆さまは、手続き内容に応じて、それぞれの窓口をご案内しているのが現状であります。その課題を解決するために、窓口の一元化を図るのが、1点目の目的であります。また、一人の子どもを健全に育てるためには、幼児期の教育と小学校教育は、円滑に接続していくことが重要だと考えております。そのために、子育て支援に関する所管事務を、教育委員会に委任し、教育と子育てのさらなる充実を目指したいというのが、2点目の目的であります。この件につきまして、委員の皆さまから何かご意見がありましたらお聞かせ頂きたいと存じます。

秩父委員 はい。今回こういった日程をいただきまして、私が教育委員に就任してから一番このへんの課題につきまして希望していたことでありまして、子育て世代の親にとりましてはこの一元化は非常にありがたいお話だと思っております。2年ほど前ですかね、子ども子育て会議に事業主の立場で参加しておりまして、こういった話をさせていただいたのですが、そんな中で保護者がまず子どもを産んでその後の手続きのことで、特に今回福祉部が向かうに移動した関係で本庁舎から向こうに移動したりなんだり提出書類の関係が大変だと言うことがありますので、今回教育委員会でそういった部署ができるならば、ここにくればすべてができると、また子どもを育てている途中で離婚されたり、いろんな手続きの書類が欲しいということもここにくればみんな分かるという状態で義務教育まで進行できれば非常にいいかなと思っておりましたので、こういった提案は是非進めていただきたい、やっていただければと思っております。以上でございます。

進行（松島教育部長） 他にございますか。

福田委員 はい。ちょっと勉強不足で申し訳ないのですが、保育園、幼稚園、認定こども園、これは端的に言うとうどう違うのですが、端的に教えていただければと思います。

宮永企画課長 はい。保育園につきまして、こちらにつきましては保護者の就労状況と家庭の状況で長く預かっていただければならないご家庭の方が対象となってきます。こちらの管轄につきましては厚生労働省が管轄になっております。幼稚園につきましては、預ける時間が短いということでこれは文部科学省の管轄になりますが、保育を要しない方たち、短い時間を預けるという位置づけになっております。認定こども園につきましては、保育園・幼稚園の両方の機能を兼ね揃えているということで、町内の私立の幼稚園につきまして1園がまだ認定こども園になっておりませんが、その他の幼稚園につきましては認定こども園の認可を受けて運営しているところでございます。以上でございます。

福田委員 大変良く分かりました。保育園が厚生労働省、幼稚園が文部科学省、認定こども園はどちらなのですか。

宮永企画課長 はい。

進行（松島教育部長） 宮永課長

宮永企画課長 幼稚園の管轄になりますので文部科学省の管轄になっているところがございますが、両方、幼保一体ということでいま運営をしているところがございます。

福田委員 まあ、内容につきまして保育園は長い、幼稚園は短い、認定こども園は両方兼ね備えているという感じで、なかなか我々、私みたいな素人にはどれがどうなんだか、ちょっとなかなか難しいですね、厚生労働省、文部科学省、管轄なんかも非常に難しい。やっぱり先ほど秩父さんもおっしゃったように住民目線で見るとどれがどうなんだか、なかなか難しいと思うのですね。これを一元管理するのは、まあ私も住民目線から見たら非常に分かりやすいんじゃないかなという風に今の説明を受けて確信した次第です。

進行（松島教育部長） 他に。

高倉委員 はい。

進行（松島教育部長） 高倉委員さんお願いします。

高倉委員 例えば、今回こういうふうに一元化された場合に専門的な知識とかを持っておられる方とかが必要となってくるのですよね。もし、なった場合に教育委員会で全部見ていくわけですよね。そうなった場合にいろいろと問題があると思うのですが、スムーズに行くのかなと思うのですが、そのへんはいかがですか。

加藤企画部長 はい。企画部長の加藤でございます。大変お世話になります。その点は、そのあとの人事のことになるのですが、今いる教育委員会の人員ですべてを担うということではなく、当然のことながら現在所管している子育て支援課の所管の方からこちらの分かる職員が異動する形になると思われまます。以上でございます。

大塚委員 私自身のことになるのですが、教育委員会ではないのですが、窓口で間違っただ案内をされたことがあります。過去にもありました。そういうことがあっては困るので、そのための職員の方々の配置を考慮いただければと、ただ全体像が決まっていないということをお聞きしているのです、人数とかどのような体制になるのが分かりませんが、間違いのないような十分な改善を是非お願いしたいと思ひます。

進行（松島教育部長） ご要望ということでよろしいでしょうか。

大塚委員 あともう一つよろしいですか。障がい者の方とかもこちらになるのですか。

宮永企画課長 障がい者の内容にもよると思うのですが、もともと障がい者の方というのは福祉課の担当となっておりますので、またその中で障がい者のくくりとして扱いますが、障がい児の通園することとかになるとまたちょっと違ってくると思うのですが、もともと障がい者というのはあくまでも福祉課ということになってきます。

大塚委員 障がい者のお子さんとかは福祉課と両方になるのですか。

宮永企画課長 そうですね。障がい者の部分になってきますと障がい認定とかそういった細かいことにつきましても福祉課の方ということになってきます。

進行（松島教育部長） 他にご意見ございますでしょうか。

秩父委員 今の話は、今回子育て支援課と教育委員会ということですが、広げるといろいろあると思うのですが、いまの障がい者や生活保護受給者のお子さんとか広がりますが、今回の一元化で子どもに関することはある程度こちらでこなせるようになれば良いと思います。いろいろ手続き上問題があると思いますが、極力ひとつの窓口で総合的に受付ができれば、いわゆる町民目線ということになるのではないかなと思います。

高倉委員 今のお話なのですが、窓口として教育委員会があるのですが、ちょっと話があれば他の課からもスタッフが来るとか、そういう軽いフットワークというのか、そういうフォローができればすごくいいと思います。

村山町長 私の方からよろしいですか。確かに今の障がい者だとかそういう関係は福祉になるのですが、ただ要保護家庭とかいわゆる生活が厳しい家庭とか家族の学校に転校にしたりするなかで、学校教育だとか一元化する中に組み込めれば、ただ福祉とか支給されるものが違うとかも分かるのだけれども、今の意見のようにこっちに来ているのに向こうなんですよと言うと、かなり住民からすると不便なんですよ。職員からするとなんで管轄外のことをやらなくてはならない、仕事が増えてしまうと言うけど、住民からすると逆に住民サービスの向上ということを考えるのであれば、住民の利便性を第1優先にしなければならぬ。横のつながりだよ、良く言うのだけれども縦割りじゃなくて横の繋がりでうまく、そのあっちいけこっちいけとお役所仕事で振り回されちゃうとか言われるのでなくて、うまく効率的にできる方法を考えてもらえればいいなと思うんだよね。確かに現場サイドからすれば、そのやり方からすると教育費と社会福祉費がどうするのか、そっち別だよとかでてくるし、手続きが何だとかでてくるけど、できない別として効率的なことを考えてよ。

加藤企画部長 お話分かりました。今まで町長からの命で、例えば子どもの関係が出てきた場合に子どものことだけでなくその親の問題やいろんなところに影響することがありますので、その場合にきちんと連携するように肝に銘じて言われておりますので、町長の方針と言うか町長の考えのもとに、場合によっては例えばみんなで1カ所に集まって1人のお子さんの話をすることみんなで話し合うことができたらいいなと思っております。

村山町長 加藤部長の話というのは、子どもを救済しようとしても親がダメだとか、その親も行政が介入してある程度手助けをする、それとか指導するとか広い意味も考えてやっ

ていくべきだと思うんだよね。結局子どもを何とかしようとするとな家族が協力しないとまるっきり話が進まないし、広い範囲になってしまうのだけれども、その辺も含めて機構も含めた中で今考えているとこなので、また教育委員さんの方からこういう方がいいですと意見や気づいた点があればお話いただければと思います。

福田委員 せっかく窓口を一本化するということはいいことだと思うので、どうせ一本化するのだったらただ一本化するのではなく、やはり大泉の保育園、幼稚園、認定こども園はどういう特色があるのか、あるいは小学校中学校にどうやって繋いでいくのか。結局、この子たちが小学生中学生になっていくのです。小学生中学生もなかなか厳しい道徳面での教育があるかなと思うのですが、三つ子の魂百までじゃないですけど、幼いうちに教育することがもっともっと小中教育よりももっと大切なんじゃないかなと、その辺も中身のある一元化、窓口だけ一元化すればいいってもんじゃないでなくて、何かそういう新しい挑戦を考えていただけたらありがたいなと、一緒になってやっていくつもりなのでその辺が是非できればいいと思います。

進行（松島教育部長） 他にご意見ございませんでしょうか。ないようでしたら、最後にこの案件について町長から一言お願いいたします。

村山町長 みなさんからご意見いただきまして、今後もこの組織改革についてしっかりと進めていきたいと思ってますし、よりいいものを作るには、また先ほど申し上げましたとおり、教育委員さんの方から検討課題にしていくことがあれば提案していただければと思います。結論としたしましては、執行部としては一元化の方向で進めてまいりたいということをおし上げておきます。今後ご協力とご提言をお待ちしております。以上です。

進行（松島教育部長） それでは、協議事項も終了しましたので、次の5その他 がございますが、事務局からは特にありませんが、委員の皆さんから何かございましたらお願いいたします。

（発言なし）

ないようですので、
以上で平成29年度第1回大泉町総合教育会議をこれにて閉会とさせていただきます。
ありがとうございました。